



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月5日

上場会社名 株式会社 バロー 上場取引所 東名  
 コード番号 9956 URL <http://www.valor.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 正美  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 志津 幸彦 (TEL) 0572-20-0804  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 有  
 四半期決算説明会開催の有無 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	100,361	9.8	3,699	95.5	3,900	92.7	2,257	—
23年3月期第1四半期	91,416	6.8	1,892	15.0	2,024	13.1	△228	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,116百万円 (—%) 23年3月期第1四半期△299百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	44.33	44.03
23年3月期第1四半期	△4.48	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	191,584	63,325	32.6
23年3月期	190,065	61,821	32.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 62,500百万円 23年3月期 60,998百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	207,100	11.5	6,900	45.9	6,900	37.7	3,250	192.4	63.81
通 期	419,500	10.6	14,100	14.2	14,200	10.8	6,400	51.2	125.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |   |
|----------------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | 無 |
| ④ 修正再表示              | 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	52,661,699株	23年3月期	52,661,699株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,731,000株	23年3月期	1,731,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	50,930,699株	23年3月期1Q	50,931,726株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
4. 四半期連結財務諸表等.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書.....	6
四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報等.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産や輸出が減少し、企業収益や設備投資の動向も鈍化する等厳しい状況にあり、今後の深刻な影響が懸念されております。

小売業界におきましては、雇用情勢の厳しさによる個人消費の冷え込みや、震災の影響による食材価格の高騰、食の安心・安全への意識の更なる高まり等により厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループでは積極出店による事業規模の拡大を図ると共に、より高品質・低価格を目指した商品開発、従業員教育充実によるサービスレベルの向上等により、店舗における営業力の強化を進めてまいりました。グループ全体の店舗数は、6月30日にドラッグストア2店舗を出店した時点で500店舗に到達しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は前年同期比9.8%増の1,003億61百万円となりました。また、営業利益は前年同期比95.5%増の36億99百万円に、経常利益も前年同期比92.7%増の39億円となり、それぞれ増益を達成いたしました。また四半期純利益につきましては、前年同期のような特別損失14億83百万円(資産除去債務に関する会計基準変更によるもの)の計上がなくなったことから、黒字へと復帰し、22億57百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### <スーパーマーケット事業(SM)事業>

SM事業の営業収益は715億95百万円(対前年同期比10.7%増)、営業利益は25億56百万円(対前年同期比90.2%増)となりました。

基幹事業である同事業につきましては、引き続き業容拡大と営業力強化の両面に注力いたしました。店舗につきましては、SMバロー3店舗を新規に出店し、四半期末現在のSM店舗数はグループ合計で205店舗となりました。また、6月には同業の株式会社ファミリースーパーマルキ(岐阜県山県市)を100%子会社化することについて合意しております。

商品政策では、「サプライズ50」として50品目から開発をスタートした、圧倒的低価格の自主企画商品が、6月末には100品目に達しました。また、自社物流網の活用により、当日早朝に水揚げされた鮮魚を、昼には店頭で販売するという取り組みを開始するなど、生鮮食品の強化にも注力いたしました。

このような施策がご好評をいただいたことに加え、東日本大震災後に一部食品の需要が高まった効果もあり、当四半期におけるバロー本体のSM既存店売上高は、前年同期比で3.5%伸びました。

#### <ホームセンター事業(HC)事業>

HC事業の営業収益は104億91百万円(対前年同期比9.7%増)、営業利益は7億43百万円(対前年同期比104.9%増)となりました。

同事業につきましては、原発事故に端を発した節電要請が高まる中で、省エネ効果の期待できる商品や、夏場の高温対策に有効な商品などが注目され、販売が増加いたしました。これにより、当四半期の既存店売上高は前年同期比9.7%と大幅に伸びました。出退店の変動はなく、四半期末現在の店舗数は昨年度末と同じ36店舗でした。

#### <ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業の営業収益は132億94百万円(対前年同期比8.5%増)、営業利益は3億64百万円(対前年同期比163.1%増)となりました。

同事業につきましては、2店舗を新たに出店し、四半期末現在の店舗数は176店舗となりました。また、16店舗で改装を実施し、営業力の強化を図りました。商品面では、震災以降に生活必需品の需要が増加したのに加え、花粉対策商品や初夏の気温上昇に関連した季節商品も前年比で顕著な伸びを示しました。このほか、全店で低価格戦略を推進したことの効果もあり、既存店の四半期売上高は前年同期比で4.0%増加いたしました。経費の節減にも積極的に取り組みました。

#### <スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業の営業収益は21億20百万円(対前年同期比0.9%減)、営業損失は41百万円(前年同期は営業損失83百万円)となりました。

同事業につきましては、スタッフの能力向上や新たな会員システム・プログラムの導入により、会員満足度の向上と入退会率の改善を図りました。出退店の変動はなく、四半期末現在の店舗数は前年度末と同じ51店舗でした。

<流通関連事業>

流通関連事業の営業収益は14億88百万円(対前年同期比2.9%増)、営業利益は7億1百万円(対前年同期比15.0%増)となりました。

流通事業に関連するその他のグループ企業では、流通事業の規模拡大に的確に対応するためのインフラ整備や、サービスレベルの維持向上を図って参りました。

<その他の事業>

その他の事業の営業収益は13億71百万円(対前年同期比6.9%増)、営業利益は53百万円(対前年同期比9.5%減)となりました。

その他の事業につきましては、ペットショップ事業、衣料品等の販売業、保険代理店及び温泉事業等であります。ペットショップ事業につきましては、1店舗を新たに出店し、四半期末現在の店舗数は17店舗となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ15億18百万円増加し、1,915億84百万円となりました。これは主に現金及び預金10億37百万円及び棚卸資産15億2百万円の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ13百万円増加し、1,282億58百万円となりました。これは主に、買掛金16億39百万円及び賞与引当金11億71百万円が増加したものの、未払法人税等24億60百万円及び有利子負債6億97百万円の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ15億4百万円増加し、633億25百万円となり、自己資本比率は32.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績につきましては、平成23年5月10日決算発表時の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,800	14,837
受取手形及び売掛金	4,330	4,519
商品及び製品	19,581	21,058
原材料及び貯蔵品	353	379
その他	7,486	6,233
貸倒引当金	△22	△17
流動資産合計	45,530	47,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	62,973	62,883
土地	33,420	33,297
その他(純額)	10,067	10,387
有形固定資産合計	106,461	106,569
無形固定資産		
のれん	1,048	900
その他	5,515	5,514
無形固定資産合計	6,564	6,415
投資その他の資産		
差入保証金	21,879	22,057
その他	10,185	10,091
貸倒引当金	△555	△560
投資その他の資産合計	31,509	31,588
固定資産合計	144,535	144,573
資産合計	190,065	191,584

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	26,370	28,009
短期借入金	34,244	30,400
未払法人税等	4,336	1,876
賞与引当金	1,756	2,928
引当金	546	456
資産除去債務	5	5
その他	11,375	11,930
流動負債合計	78,636	75,606
固定負債		
社債	4,148	4,170
長期借入金	27,502	30,744
退職給付引当金	2,225	2,110
引当金	1,334	1,379
負ののれん	184	171
資産除去債務	3,218	3,263
その他	10,993	10,812
固定負債合計	49,607	52,651
負債合計	128,244	128,258
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,916	11,916
資本剰余金	12,670	12,670
利益剰余金	38,861	40,507
自己株式	△2,215	△2,215
株主資本合計	61,233	62,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△235	△379
その他の包括利益累計額合計	△235	△379
新株予約権	344	344
少数株主持分	478	481
純資産合計	61,821	63,325
負債純資産合計	190,065	191,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	88,058	96,539
売上原価	68,076	73,873
売上総利益	19,981	22,665
営業収入	3,358	3,822
営業総利益	23,340	26,487
販売費及び一般管理費	21,447	22,788
営業利益	1,892	3,699
営業外収益		
受取利息	42	42
受取配当金	17	15
持分法による投資利益	10	28
受取事務手数料	143	160
受取賃貸料	184	211
負ののれん償却額	12	13
その他	161	178
営業外収益合計	571	650
営業外費用		
支払利息	161	153
不動産賃貸原価	263	285
その他	15	9
営業外費用合計	440	449
経常利益	2,024	3,900
特別利益		
固定資産売却益	—	0
前期損益修正益	10	—
違約金収入	5	2
退職給付制度改定益	—	127
その他	1	8
特別利益合計	16	139
特別損失		
固定資産売却損	4	3
固定資産除却損	98	12
減損損失	9	—
債務保証損失引当金繰入額	6	43
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,483	—
その他	51	29
特別損失合計	1,654	88
税金等調整前四半期純利益	386	3,952
法人税、住民税及び事業税	1,465	1,976
法人税等調整額	△842	△285
法人税等合計	622	1,691
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△236	2,260
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△8	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△228	2,257



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△236	2,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	△144
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△63	△144
四半期包括利益	△299	2,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△291	2,113
少数株主に係る四半期包括利益	△8	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	386	3,952
減価償却費	2,017	2,252
のれん償却額	130	134
減損損失	9	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	26	△114
受取利息及び受取配当金	△60	△58
支払利息	161	153
持分法による投資損益(△は益)	△11	△11
固定資産除却損	98	12
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,483	—
売上債権の増減額(△は増加)	△65	△188
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,115	△1,502
仕入債務の増減額(△は減少)	2,444	1,639
その他	2,764	3,003
小計	8,272	9,273
利息及び配当金の受取額	25	25
利息の支払額	△116	△111
法人税等の支払額	△2,236	△4,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,944	4,825
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,140	△2,114
無形固定資産の取得による支出	△162	△95
差入保証金の差入による支出	△226	△413
差入保証金の回収による収入	242	256
預り保証金の受入による収入	153	22
預り保証金の返還による支出	△116	△99
その他	213	214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,037	△2,229
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,479	△3,766
長期借入れによる収入	—	5,200
長期借入金の返済による支出	△1,702	△2,035
社債の償還による支出	△62	△52
配当金の支払額	△457	△562
その他	△100	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー	156	△1,350
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,063	1,246
現金及び現金同等物の期首残高	9,259	13,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,323	14,794

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット 事業	ホームセ ンター事 業	ドラッグ ストア事 業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	64,670	9,563	12,248	2,140	1,447	90,070	1,282	91,353
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	384	3	0	0	4,371	4,759	47	4,807
計	65,055	9,566	12,248	2,141	5,818	94,830	1,329	96,160
セグメント利益又は損失 (△)	1,344	363	138	△83	610	2,372	58	2,431

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップの営業、衣料品等の販売業、保険代理店及び温泉施設の営業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,372
「その他」の区分の利益	58
セグメント間取引消去	190
全社費用（注）	△729
四半期連結損益計算書の営業利益	1,892

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット 事業	ホームセ ンター事 業	ドラッグ ストア事 業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	71,595	10,491	13,294	2,120	1,488	98,990	1,371	100,361
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	420	4	1	0	4,651	5,079	97	5,176
計	72,016	10,495	13,295	2,120	6,140	104,069	1,468	105,537
セグメント利益又は損失 (△)	2,556	743	364	△41	701	4,324	53	4,377

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップの営業、衣料品等の販売業、保険代理店及び温泉施設の営業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,324
「その他」の区分の利益	53
セグメント間取引消去	148
全社費用（注）	△826
四半期連結損益計算書の営業利益	3,699

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。